

社 おおさと協 だより 協

2021年
9月 No. 75

編集・発行
社会福祉法人
大郷町社会福祉協議会
大郷町柏川字東長崎31-7
TEL (022) 359-2753
<http://oosato-syakyo.or.jp/>

この広報誌は社協会費と赤い羽根共同募金の配分金の一部で発行しています。

2021みんなの想火 in 大郷



台風19号被害からの復興・未来への希望・感謝の想いを竹あかりに込めて、
全国47都道府県+世界6か国と一緒に同時刻、約500個の竹あかりが灯りました。



被災者支援事業 地域支え合いサポートセンターの活動紹介

令和元年台風19号の被災地域において、急激な環境の変化に加え、新たな暮らしになかなか馴染めないでいる方の閉じこもり防止や、社会的孤立感の解消、安全・安心な生活を送れるようサポートしています。

〇いきいき百歳体操

コロナ禍により自粛生活が続き、体を動かさないことで身体機能が低下し、体調不良も引き起こされます。いきいき百歳体操は、おもりを使って筋力をつける体操で、転倒予防などに効果があり、継続することによって毎日の動きが楽になる効果があります。現在2ヶ所で毎週実施しています。



＼中粕川地区の様子！／

仮設団地の皆さん

＼4ヶ月継続中です！／



新メンバー募集しています

〇みんなの想火 in 大郷

孟宗竹の提供から始まり、山から切って運び、竹に穴をあけ、竹あかりが灯り、最後の片付けまで町内外問わず多くの方の関りによって実行されました。

踊り・笛・太鼓全部かっこいい～



ドローン撮影
上空から～



太鼓演奏・打撃衆「傀」
盛り上げていただきました。



みんなまざって記念撮影

〇ハローガーデン・お茶っこサロン

藍の生葉染め会

仮設団地用の畑で栽培した徳島産の藍をつかって藍染めを実施しました。



＼集まって作業するの久しぶりだね！／



なんかいい感じ♪



問い合わせ 大郷町地域支え合いサポートセンター
TEL 080-6043-6998 (担当 及川)



9月20日

敬老の日



家族の中心となって役割を担ってきたおじいちゃんおばあちゃんのご苦労を認識し、家庭内だけでなく近所のお年寄りまでいたわりと思いやり、感謝の心が広がることを願って毎年大郷小学校の5・6年生の皆さんから募集している敬老作文。例年、優秀賞4名の皆様に敬老会で音読発表していただいておりますが、今年は敬老会が中止となったため、社協だよりにて掲載させていただきます。



ありがとう

五年一組 大内 眞那

わたしの家には、おじいさんとおばあさんがいます。わたしが産まれたころのおじいさんとおばあさんのことを、おかあさんに聞いたら、おばあさんとおじいさんは泣いていたそうです。それを二年生のころに聞いておじいさんとおばあさんと一秒でも死ねまえにいつしよにいたいと思いました。

ある日、朝ごはんはなんだろうな〜と思いつながらいだんを、おきてテーブルに行くときテーブルにこちそうが乗っていて、わたしは「これだれが作ったの?」と聞いたらおかあさんが、「おばあさんが作ったわよ。」と言ってびっくりしました。

おじいちゃんは、ゴルフが大好きでバレーボールをわたしが始めておじいちゃんといっしょにしました。

おじいちゃんとおばあちゃんは、わたしのことを「幸せに生きてほしい」と言ってくれたときわたしは、泣きそつにな

りました。

おじいちゃんとおばあちゃんはいなかったらわたしは、この世界に産まれてま

せんでした。おじいちゃん、おばあちゃんありがとうそして長生きしてください。



四季と共に自然の良さを おじいさんとおばあさんから

学んだ

五年二組 越前ありさ

ある日、テレビでクイズ番組を見てみると、「この山菜は何でしょう」という問題が出ました。わたしはすぐにぜんまいだと分かりました。なぜ分かったかという、おじいさんとおばあさんのおかげだからです。

わたしは、小さいころから園芸のお手伝いをしていました。だから、野菜や花の豆知識は大体知っています。でも、分からないことはまだたくさんあります。

シャベルを使ってあなをほったりしていたころは、まちがってくきを折ってしまったり、植え方がぐちゃつとなつてしまったりすることが多くて、その度に「あ

なの深さはこれくらいだよ。」「や、「くきを持って逆さにして植えるんだよ。」「なごど、やさしく教えてくれました。他にも教えてもらったことは数えきれないほどあります。

春には、おばあさんが好きな色々な花がさく花だんの草むしりを手伝ったりします。ホームセンターで花のなえを買った時も「どの花がいい。」「わたしの好きな花を選んでくれます。わたしはその花たちに「きれいに大きく育てほしいな」と思いながら水やりをします。

夏になれば、小さいころは麦わらぼう子をかぶって、お気に入りのピンクのバケツと黄色のスコップを持っておじいさんといっしょにきゅうりやなすなどの野菜をしゅうかくに行きます。朝に畑に行くとき、くもの巣に水でぎがかかってレースのようでもきれいでした。中には曲がったものや虫食いのももあります。虫食いの野菜は最高に美味しい、虫食いがあっても、「虫がこんなに食べるほど、じいの野菜はおいしいんだよ。」「おじいさんが笑顔で言っていました。

一番楽しみなのは、水やりの時間です。

ぐったりする位の暑さがおさまリ、すずしくなってきたところに大きなホースでシャワーのように水を出すと小さなにじが出てすぐきれいで、風といっしょに顔やうでにかかる小さな水のつぶがひんやりして気持ち良いです。そんなわたしをおじいさんとおばあさんは笑顔で見られます。

秋には、種から育てたコスモスやたくさんのお花がさき、かれ葉をはく手伝いをします。

冬は、雪が積もって、雪かきが大変です。そんな時、わたしは少しでも楽にさせてあげたくて、手伝いに行こうとしますが、「大じょう夫だから、かぜをひいたら大変だから家の中にいなさい。」「とおじいさんとおばあさんが言いますが、すべてしてしまうのではないかと心配になったり、こしやひぎもいたそうで、少しも大じょう夫に見えませぬ。

わたしは、おじいさんとおばあさんが大好きで、これからもいっしょにいたいから、しつぷをはってあげたり、マッサージをしてあげたり、たくさんお手伝いしたいです。



これからもいろんな季節のいろんな事をたくさん教えてほしいから、いつまでも長生きしてほしいです。わたしはそんな、やさしくてすてきなおじいさんとおばあさんが大好きです。



おじいちゃん おばあちゃん

六年一組 三浦 柚希

私のおじいちゃんはなんでも作れます。大工みたいな仕事をしていてとてもかっこいいです。のこぎりで木を切ったりくぎを打ち付けたりします。夜中にこっそりと食べものをたべたりするときもあります。そんな一面も私は大好きです。今よりもっと小さいころは、私をとてかわいがってくれました。いつも優しく笑顔です。長生きをもっとしてほしいと思っています。ですが、私のおじいちゃんは今入院しています。「がん」という病気で余命残りわずか一、二ヶ月だそうです。元氣だったおじいちゃんは入院しています。痛み止めを飲んだり、手術をしたり。毎日苦しいと思います。なにかきせきが起きて、がんが治ってほしいです。もっと長生きしてほしいです。おじいちゃんがんばってね。もっと長生きしてね。私が大人になるまで生きてほしいです。

私のおばあちゃんは、かわいいです。

キーホルダーを付けたたり、かみを自分できったりしているところが好きです。私とお母さん、お父さん、ゆうせい(弟)はちがう所に住んでいるので一人ぐらしです。会いに行くと、とてもうれしそうにしてくれます。意地をはるけど本当はさみしい。そんな一面もあります。そんな所も大好きです。いつも一人にしてごめんね。これからはなるべく会いに行ってお手伝いもするようにします。長生きしてください。

私のおじいちゃんとおばあちゃんはとてもいい人です。私もおじいちゃんとおばあちゃんのように優しく素敵な人に将来なれるように頑張ります。おじいさん、おばあさん、二人とも長生きしてほしいです。



おばあちゃんと おじいちゃん

六年二組 村田 陽太

ぼくのおばあちゃんは、すごく元氣です。毎日とても楽しそうに過ごしています。おばあちゃんの仕事は看護師です。たまにごはんやお菓子を買ってくれます。とてもやさしいおばあちゃんです。昨年の十一月に生まれた赤ちゃんをすごくかわいがっています。おばあちゃんがいると、家の中が明るくなります。

でも、自分が言っていたことを忘れていたり、少しだらしないところもあったりします。そんなところもおばあちゃんのおもしろいところです。ぼくの弟のために砂場を作った時も手伝ってくれました。ありがたかったです。

おばあちゃんは、畑でいろいろな野菜を育てていて、どの野菜もとてもおいしいです。そして料理も上手で、おいしいごはんを作ってくれます。おばあちゃんの料理の中でも特に、きゅうりのからしづけがおいしいです。

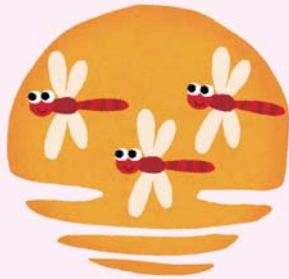
レシピ通りに作るよりも、おばあちゃん

んが適当に作った料理の方がおいしい気がします。ぼくが今、好き嫌いがほとんどなく何でも食べられるのは、おばあちゃんがおいしい料理をたくさん食べさせてくれたからだと思います。でもおばあちゃんが自分で作った料理はあまり食べません。この間ぼくがケーキを作ったときは、おいしそうに食べてくれました。「もうちょっと、ふわふわした方がおいしいな。」と言っていたので、次に作るときは、おばあちゃんにもっと喜んでほしいと思いました。

ぼくのおじいちゃんは、もう亡くなってしまったけど、とてもやさしかったです。おじいちゃんの家に行けば、ぼくのことを「よーくん、よーくん。」

と呼んで、アイスやおこげかいをくれました。すぐお酒が好きでした。そのせいで死んじゃったのかな、と考えると、おじいちゃんがお酒を飲むのを止めておけばよかったのかな、と思います。すぐくやさしいおじいちゃんでした。ぼくが小さい頃に、おじいちゃんが元気だった頃に帰りたいなと思いました。ぼくが六年生になった今、おじいちゃんが元気だ

ったらどうなっていたのかなと想像したら、楽しいだろうなと思います。ぼくのおじいちゃんとおばあちゃん、とてもやさしくて、すてきな人です。



運転ボランティア募集

社会福祉協議会では、独居高齢者・高齢者世帯へ安否確認を兼ねてお弁当を配達する「運転ボランティア」を募集しています。

活動日：月・水・金の11時～12時（月1回～OK）

対象：運転免許・自動車を所持している大郷町内の方

その他：1回の活動ごとに燃料費700円支給



☆詳しくは社協までお問い合わせください☆



心温まる寄付 感謝いたします

匿名様 5,142円

匿名様 100,000円

